

敷島の教育

= 教育目標 =

豊かな心を持ち、かしこく、たくましく生きる児童の育成

○かしこく ○たくましく ○あたたかく

< 経営方針 >

- ・自立と共生の心を基盤に、児童の「生きる力」の育成に努める。
- ・新学習指導要領に対応した、教育課程の編成・実施・評価・改善に努めるとともに、学校体制による学習指導の充実を図る。また、主体的・対話的で深い学びを実現するための学習過程の質的改善や、一人一人の資質能力の育成を支援する特別支援教育の充実に努める。
- ・家庭・地域と指導の方向性を共有し、連携・協働の活性化に努める。
- ・校内外での各種研修等をととして教職員の資質・能力の向上に努める。
- ・学校生活における児童の安全確保を重視した教育指導、施設管理等に努める。

七つの心 敷島小のよい子 (昭和58年4月設定 平成26年一部改定)

- 一、「おはようございます」という明るい心
- 二、「はい」という素直な心
- 三、「すみません」という反省の心
- 四、「私が出ます」という積極的な心
- 五、「ありがとうございます」という感謝の心
- 六、「おかげさまで」という謙虚な心
- 七、「お先にどうぞ」という譲り合いの心

	かしこく	たくましく	あたたかく
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○教科担任制特配等を活用した教科担任制、個別指導等を実施する。 ○新学習指導要領を踏まえ、主体的・対話的で深い学びを実現させるため学習過程の質的改善を図る。 ○習得と活用、探求のバランスを踏まえた学習指導の見直しや改善を図る。特に外国語、外国語活動については、効果的な教育課程を編成し指導法の工夫に努める。 ○「学びをつくるしきしまの子」や「家庭学習の手引き」にもとづく学習規律の徹底と、「しきしま学習チャレンジ週間」や「ノーメディアデー」を活用した家庭と連携した家庭学習の充実を図る。 ○ICT機器を効果的に活用し、個別最適な学び及び協働的な学びの充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストの結果を踏まえた児童一人一人の課題に応じた体力づくりを進める。 ○体育タイムと体育の授業との関連性に配慮した指導を推進する。 ○児童が自己課題を乗り越えるような場面を意図的に設定することで「くじけない心」の育成を図る。 ○定期健康診断の結果に基づく疾病治療率の向上を図る。 ○家庭と連携し児童の規則正しい生活習慣の確立と、健康指導、食に関する指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「七つの心」に基づく生活を意識させ、人としての生きるべき道を学ばせる。 ○学校行事等との関連を意識し、「考え・議論する」道徳科の授業の充実に努める。 ○人権尊重の精神に基づく学年・学級経営に努めるとともに、「ありがとうのけやき」や「いじめ防止スローガン」の作成、「なかよしアンケート」の実施などにより、悩みやいじめの早期発見とその早期対応に努める。 ○児童の自主性や主体性を重視した体験活動の実施に努めるとともに、様々な役割を与えることで自己存在感や自己用感の育成に努める。 ○草花や野菜の栽培活動により、学習環境を整え、自然に親しむ環境教育の場を設定する。

< 敷島小での学校生活 >



ALTの先生との「外国語」の授業



体育タイムでの「サーキット運動」



1人1台端末を活用した「プログラミング学習」



コロナ禍で工夫し実施した運動会



地域人材と連携した総合学習



上級生が中心となって下級生と一緒に活動する「たてわり活動」



家庭と学校が連携した「交通安全教室」



花や野菜の栽培により自然に親しめる学校

(5月1日現在)

学年	組	男子	女子	計	担任
1年	1組	12	9	21	
2年	1組	11	15	26	
3年	1組	14	19	33	
4年	1組	13	9	22	
	2組	14	10	24	
5年	1組	13	9	22	
6年	1組	18	16	34	
学習室1		4	1	5	
学習室2		2	1	3	
学習室3		1	2	3	
児童数計		102	91	193	
校長		用務技士			
教頭		前橋市小学校教科指導講師			
教務		図書館業務従事職員			
音楽		学習サポーター			
養護		スクールカウンセラー			
事務		特別支援学級介助員			
		前橋イングリッシュクラブ			
		ALT			
		オーブンドアサポーター			

児童数・担任等